

クマ対策責任者：	レベル変更の決定, 屋外作業中止の判断, 避難指示の発令, 自治体・警察への通報, 報道対応窓口への連絡			
わが社の方針	当社は、従業員、協力会社および来訪者の安全確保を最優先とし、クマとの遭遇による人的被害の防止に努める。 そのため、クマを「自然災害と同様の事業継続上のリスク」と位置づけ、予防、早期発見、迅速な初動対応および継続的改善を実施する。 また、自治体、警察、猟友会、地域住民等との連携を図り、地域社会と共存しながら安全な事業活動の維持に努める。			
	レベル1：平時（予防）	レベル2：警戒	レベル3：高度警戒	レベル4：緊急事態
発動基準／行動	出沒情報なし	近隣（概ね半径5km程度）で出沒情報、自治体・警察による注意喚起	出沒が複数発生、自治体による警戒強化、学校の休校・集団下校等	クマが敷地内に侵入、人への接近・威嚇など切迫した危険
目標	クマを寄せ付けない・遭遇しない	遭遇リスクの低減	人を危険区域へ近づけない	人命保護を最優先する
食料・ゴミ管理	生ゴミの密閉保管、施錠管理、食べ残し放置禁止	レベル1継続 管理状況を再点検	必要に応じゴミ置場閉鎖	必要に応じゴミ置場閉鎖
環境整備	草刈り、見通し確保、侵入経路点検、医療品整備	レベル1継続 巡回強化 緊急避難場所の設定	レベル変更の決定, 屋外作業中止の判断, 避難指示の発令, 自治体・警察への通報, 報道対応窓口への連絡	敷地閉鎖、出入口管理
情報収集・共有	連絡網整備、目撃情報報告ルート整備	毎朝情報確認、朝礼共有、出沒地点を地図化	緊急メール等で即時周知	安否確認システムで全員へ周知
屋外活動	通常実施	複数人（2～4人以上）で実施。 鈴・クマスプレーの携帯	不要不急の屋外活動延期・中止 鈴・クマスプレーの携帯	すべて中止
活動時間	制限なし	早朝・夕方・夜間は極力回避	必須業務のみ	実施しない

マニュアル例

クマ対応教育・訓練	クマ目撃連絡先	クマ目撃報告書	クマ遭遇時の基本行動
新入社員教育	119・110通報	日時	落ち着いて行動する
全従業員教育	自治体への通報	場所	大声を出さない
屋外作業者教育	猟友会との連携	頭数	走って逃げない
図上演習	工場長	行動	背を向けずゆっくり後退する
実地避難訓練	クマ対策責任者	写真の有無	子グマでも近づかない
		対応内容	写真撮影をしない
		報告者	建物・車両へ避難する
			安全確保後に通報する
工場内クマ危険エリアマップ	安全装備	医療対応準備	クマ被害後計画
地図	鈴	圧迫止血	1：現場・周辺の安全確保
	クマスプレー	AED	2：通報119
	長袖	担架	緊急手当て
	ヘルメット	包帯	3：救急隊引継ぎ